

水田環境鑑定士の鑑定法について

- 現地に看板設置（※調査を始める前に必ず看板を設置して下さい。）



看板を購入

弊会にて取扱いをしております。
別紙、申込用紙にご記入のうえ、FAX(06-6100-1150)にてお申し付けください
(サイズ 縦 60cm×横 90cm)

1枚 12,000円（別途 送料・消費税）

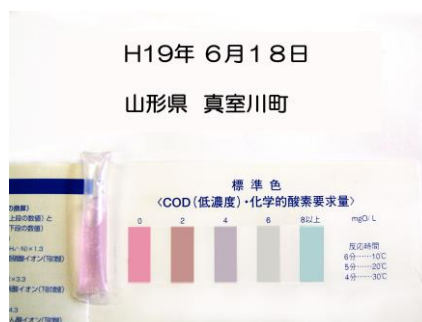
- 調査時期(参考)

調査項目	回数	調査時期
水路水質	1回	田植前が望ましい
水田、水路の 水棲生物	(第1回)	田植14日後頃が望ましい
	(第2回)	梅雨明け7月～8月下旬までが望ましい
陸上生物	随時	梅雨明け7月～8月下旬までが望ましい (第2回の水田、水路の水生々物調査と同時に行う)

※気候や環境により生息確認時期が異なってきます。
※地元の生産者の方の協力を得て、調査するのが望ましい。

■ 水路水質判定

川の水調査セットによる簡易分析



判定項目	特A判定数値	A判定数値	対象外
COD	6mg/L 以下	7mg/L 以下	8mg/L 以上
アンモニウム	0.5~0.7mg/L	0.8~0.9mg/L	1.0mg/L 以上
亜硝酸	0.05~0.07mg/L	0.08~0.09mg/L	0.1mg/L 以上
硝酸	10~15mg/L	16~18mg/L	19mg/L 以上
リン酸	0.6mg/L 以下	0.8mg/L 以下	0.9mg/L 以上

※結果を水田環境登録データチェックシートに記入のうえデータ化 (CD-Rに保存)してお送り下さい

川の水調査セット 1セット (2回分)
2,000円 (内税・送料別途)

弊会にて取扱いをしております。
別紙、申込用紙にご記入のうえ、FAX(06-6100-1150)にてお申し付けください

■ 調査地区の写真撮影 (HP公開に必要です)

水田を核とした周辺の環境写真	1 枚
調査水田の全体写真	1 枚
調査水田を一部組み入れた写真	1 枚
周辺水路 (用水導入法のわかる写真)	1 枚
上流の河川、湖沼、源流等の写真	1 枚
川の水調査セットによる簡易分析結果 (下欄5項目)	各1 枚
生物写真	30枚以上
※水田環境登録データチェックシートにご記入のうえ、データ化 (CD-Rに保存)してお送り下さい	

■ 生物を指標とした環境調査

生息する虫を調べ、点数を付けます

※生物指標(評価指数)は「水田とその周辺の生き物評価指数リスト」を参照ください。

※ 生物指標は特 A、A 評価を得たが、水田周辺の丘陵地に永年作物(果樹園、茶園等)が作付けされており、そこから硝酸態チツソ等が流入するケースがある。そうした場合には生物指標で多様性が確認されておれば、それを優先して評価する場合もある。

■ 環境特A、Aの得点基準

(注1) 「安全なお米の情報広場」への公開を要請できる水田

有機栽培米(JAS) ・ 特別栽培米 ・ エコ栽培米

(注2) 評価指数について

生物の種類	評価指数
農薬に特に弱い種	3
農薬に弱い種	2
農薬に強い種	1
稲の害虫を示す種	0

(注3) 水田環境判定基準について

水棲生物の甲殻類、魚類、両生類、貝類、コウチョウ目、クモ類、トンボ類、カゲロウ目、バッタ目、カマキリ目、カメムシ目、ハエ目、チョウ目、トビゲラ目、ハチ目、爬虫類を核としています。

鳥類、哺乳類は対象地区の生物多様性を証明する付随データとして評価します。

生き物の合計指数	判定
90点以上 (30種以上)	特 A 基準
60点以上 (20種以上)	A 基準
60点未満 (20種未満)	対象外

(注4) 生息数の評価算定法が複雑な為、各種生物の生息数合計を参考データとして公表する方法をとります。

(注5) 年間を通した水路調査の結果を合計して評価しますが、同一生物を複数回確認した場合の評価は1種とします。

■ インターネット公開資料の作成

- ① 水田環境登録データチェックシートへの記入
- ② 捕獲生物調査表への記入
- ③ 公開用写真のデータ化 (CD-R に保存)

※ 資料の作成後 ①、②、③を協会宛に送付して下さい

■ インターネット公開

ホームページ UP 料金

新規…… 2 万円 / 1 件

更新…… 毎年 1 回、虫の写真 5 枚以上の更新・水質調査の更新料・・・ 3 0 0 0 円

(但し、虫の写真を 1 0 枚以上変更される場合、現行どおり 5 0 0 0 円にて請求させていただきます)

※下記のようなホームページに画面になります



鑑定結果エリア検索



水質判定 詳細表示



生物判定 詳細表示

■ 流通に関する規定

弊会ホームページでデータ公開されていない水田環境特 A 米は消費者からの内容確認が出来ないため、水田環境特 A 米として販売できません。

また、弊会の取り扱う、水田環境特 A 米袋はデータ公開圃場のみでの販売になります。

御了承ください。

■ 水田環境特A米に使用できる米袋とラベル



水田環境鑑定士が選んだお米
2kg用と10kg用の米袋があります

このお米の水田環境がご覧頂けます
(下記の「安全なお米の情報広場」へアクセスしてください)
URL <http://www.anzen-kome.com>
水田環境鑑定士による水田環境調査の結果を周囲の景観写真と確認した生物写真を含めて公開しています。

ホームページを見てね!

生物指標
公開システムのお米

データ受付 / 米・食味鑑定士協会
会長 鈴木秀之

水田環境鑑定士 016 0001号 鈴木秀之

オリジナルデザインの米袋を作成する場合、左図を入れることで消費者にアピールできます



水田環境特Aラベル

既存の米袋にご利用できます

サイズ 70mm×45mm

水田環境鑑定士ロゴの下枠 (45mm×13mm) に鑑定士番号と氏名を入れて使用します

(ハンコは各自でお作りください)

100枚 600円 (消費税・送料別途)

※認定番号・名前入りのラベルは
最小ロット1万枚より承ります
(1枚6円、消費税・送料別途)

■ 捕獲法(参考)

<p>水田の水棲生物</p>	<p>まず、水口、水尻、及び水田の角4ヶ所を目の細かいアミですくい、水中で泥を洗い流してから水を入れたバットに移し、種と生息数を記帳する。</p> <p>さらに目の細かい金網で泥をすくって、バットに移し、生物を探す。その後、持ち帰って写真撮影し、他は静かに水中に放してやる。</p>
<p>水路の生物</p>	<p>水路の堤の上に静かに立ち、その場から見える範囲の泳ぐ魚の種類と匹数を記帳すると同時に写真撮影する。</p> <p>次に水路に入り、抽水植物(水中から生える草群)の上側に網を入れ、網の中に魚や虫類を追い込み、捕獲する。</p> <p>さらに1mm メッシュ程度の小さな金網ザル(角型が望ましい)を泥の中に押し込み、すくいあげて泥を流してから、ザルから水を入れたバットに生物を移す。種と生息数を記帳し、一種一匹のみをエタノール入りの容器に入れて持ち帰って写真撮影し、他は静かに水中に放してやる。</p> <p>又、水深が20cm 以上の場所にプラスチック製のモンドリにサナギ粉、煎った米ヌカ等を粘土と混ぜて団子にしたものを入れ、30～40分後に引上げて、魚類等を捕り、撮影後に放流する。</p>
<p>陸上生物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 虫見板を株元にあて、反対側からたたいて板上に落ちた虫を目の細かい捕虫網にはたき落とし写真に撮り、後で種と生息数を記帳する。(エタノール漬け保管する) ◆ クモ類はアミに朝露のおりたタイミングで写真(接写と遠景)をとり、記帳する。 ◆ バッタ、トンボ、哺乳類、鳥類等は写真を撮り、保管もしくは記録する。

<捕獲生物の保管方法>

1種一匹のみをエタノール(95%)を満した透明ケースに入れる。

紙に鉛筆で**捕獲年月日、時間、場所(住所)、天気、気温、水温**を記入し、上記ケースに入れる。
後日のために各自が保管する。

※ 写真は後日の調査証明と水田環境鑑定のホームページで公開する為に必要なもので、生物の特徴が視認できるくらいには接写し、はっきりと写っている写真を保管する事。
また、鳥類におきましても、ある程度種類が断定できる程には、近しい距離で撮影してください。
(写真の無いものは評価出来ません)

水田環境登録データチェックシート

管理番号	看板No.		
調査場所住所			
栽培法	有機栽培(JAS)	特別栽培	エコ栽培
面積	ヘクタール		
栽培品種名			
生産者名			
連絡先TEL			
鑑定士番号			
鑑定士名	(印)		
組織名			
住所			
連絡先	TEL:	FAX:	
景観写真	大	画像No.	.JPG
	小	画像No.	.JPG
	小	画像No.	.JPG
	小	画像No.	.JPG
	小	画像No.	.JPG
水質データ	COD	測定値	(mg/L) .JPG
	アンモニウム	測定値	(mg/L) .JPG
	亜硝酸	測定値	(mg/L) .JPG
	硝酸	測定値	(mg/L) .JPG
	りん酸	測定値	(mg/L) .JPG
水質	評価年月日	年 月 日	時刻:
		天候:	気温: 水温:
		前日の天候	
	判定	特A	A
生息生物	評価年月日	年 月 日 ~	月 日まで
	評価指数	匹	点
	判定	特A	A

判定根拠

用水の供給を受ける水源情報

河川名

(源流からの距離 km)

湖沼名

用水の他水田との水循環の有無(有・無)

ため池

湧水

上流の状況

民家の有無

(無し) ・ (あり 軒)

その他の施設の有無

(例) 工場、鉱山、養鶏場、養豚場等 (具体的にご記入下さい)

コメント・備考

捕獲生物調査表

評価指数	種名		生息場所	画像	
		科			
3 (例) 点	カワニナ(例)		水路 (側面)	(例)	001(例).jpg カワニナ(例).jpg 等
		科			
点		科		No.1	.jpg
		科			
点		科		No.2	.jpg
		科			
点		科		No.3	.jpg
		科			
点		科		No.4	.jpg
		科			
点		科		No.5	.jpg
		科			
点		科		No.6	.jpg
		科			
点		科		No.7	.jpg
		科			
点		科		No.8	.jpg
		科			
点		科		No.9	.jpg
		科			
点		科		No.10	.jpg
		科			
点		科		No.11	.jpg
		科			
点		科		No.12	.jpg
		科			
点		科		No.13	.jpg
		科			
点		科		No.14	.jpg
		科			

捕獲生物調査表

評価指数	種 名		生息場所	画像	
		科			
点		科		No.15	jpg
		科			
点		科		No.16	jpg
		科			
点		科		No.17	jpg
		科			
点		科		No.18	jpg
		科			
点		科		No.19	jpg
		科			
点		科		No.20	jpg
		科			
点		科		No.21	jpg
		科			
点		科		No.22	jpg
		科			
点		科		No.23	jpg
		科			
点		科		No.24	jpg
		科			
点		科		No.25	jpg
		科			
点		科		No.26	jpg
		科			
点		科		No.27	jpg
		科			
点		科		No.28	jpg
		科			
点		科		No.29	jpg
		科			

捕獲生物調査表

評価指数	種 名	生息場所	画像	
	科			
点			No.30	jpg
	科			
点			No.31	jpg
	科			
点			No.32	jpg
	科			
点			No.33	jpg
	科			
点			No.34	jpg
	科			
点			No.35	jpg
	科			
点			No.36	jpg
	科			
点			No.37	jpg
	科			
点			No.38	jpg
	科			
点			No.39	jpg
	科			
点			No.40	jpg
	科			
点			No.41	jpg
	科			
点			No.42	jpg
	科			
点			No.43	jpg
	科			
点			No.44	jpg
	科			

捕獲生物調査表

評価指数	種 名	生息場所	画像	
	科			
点			No.45	jpg
	科			
点			No.46	jpg
	科			
点			No.47	jpg
	科			
点			No.48	jpg
	科			
点			No.49	jpg
	科			
点			No.50	jpg
	科			
点			No.51	jpg
	科			
点			No.52	jpg
	科			
点			No.53	jpg
	科			
点			No.54	jpg
	科			
点			No.55	jpg
	科			
点	特Aは90点以上 ・ Aは60点以上			